

◇平成29年度 南丹市学校自己評価書◇

【 南丹市立八木中学校 】

◎評価については、「A・B・C・D」の4段階表記とする。(A:十分な成果が見られた、B:成果が見られた、C:やや課題が見られる、D:課題が大きい)

◎目標数値はおもにH28「京都府学力診断テスト『はぐみたい力』見える化シート』及び校内アンケート(生徒・保護者)をもとに設定しています。

評価領域	南丹市教育委員会「学校教育指導の指針」に基づいた実践の方向性	本校における課題に対する取組の具体的達成目標	成果	達成度	課題	課題に対する次年度に向けた改善・克服・発展策
(一) 個人性を伸ばす力を育む推進し、	学習指導	<p>学力と教科・領域等との相関を研究し、八木中学校独自の『学力向システム』を構築できたか。</p> <p>質の高い学習集団づくり、学び合う学習集団づくりができたか。</p> <p>誰もが学びやすい授業や学習環境づくりに取り組み、全教職員で全ての生徒の学力を伸ばせたか。</p>	<p>○学力診断テストの結果をもとに成果と課題をまとめ、改善点を明らかにし、具体的な改善策を生徒・保護者に示す。(「学校は分かりやすい授業をしている」80%)</p> <p>○年間10人のゲストティーチャーを招いて多様なテーマで講演会を実施する。</p> <p>○生徒の知的好奇心を育むために、大学と連携した授業を年に3回以上実施する。</p> <p>○個々の生徒の長所や強みを伸ばす指導を積極的に行う。(検定の受検80%以上)</p>			
	キャリア教育	将来の自立を目指し、基本的な生活習慣を定着させることができたか。	<p>○食育、保健指導を充実させる。(「毎朝、朝食を食べる」95%以上)</p> <p>○「サクセスダイアリー」を活用して指導し、家庭学習の充実を図る。(「自分の計画を立てて勉強する」80%)</p>			
		将来の夢や希望を育み、社会環境の変化に対応していく力と態度を育成できたか。	<p>○「良いところ探し」や「ありがとうの木」等に取り組み、互いの良さを認め合う暖かい雰囲気醸成する。(「自分によいところがある」80%)</p> <p>○学年に応じた進路指導を行い、自分自身や将来について考えさせる。(「将来の夢や目標がある」80%以上)</p> <p>○生徒会活動や行事、学級の取り組みのなかで役割を与えたり、検定や大会に挑戦させたりすることで、チャレンジ精神を育てる。(「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する」50%以上)</p>			
(三) 人権尊重の推進を重視する	人権教育	<p>あらゆる学習場面を通して、自他を大切にすること、思いやりの心を育むことができたか。</p> <p>ひとりひとりが大切にされる、いじめのない充実した学校生活を実現できたか。</p>	<p>○自他の人権について生徒に考えさせ、話し合わせたり、書いたものを交流したりして、学びを深めさせる指導を心がける。(「学校に行くのは楽しい」90%以上)</p> <p>○「相談できる人がいる」と回答する生徒を85%以上にする。</p> <p>○いじめ・問題事象発生時には迅速かつ組織的な対応を行う。(生活アンケートを年間10回以上実施、いじめ解消100%)</p>			
(五) 安全・安心を確保する力の向上	防災教育	<p>登下校時を中心に学校安全の確保ができたか。</p> <p>災害・事故発生時に備えた防災教育ができたか。</p>	<p>○交通安全教室を全学年で実施し、通学マナー、交通ルールに関する指導を学期に1回以上行う。</p> <p>○危険箇所での現地指導を全職員で定期的に行う。(「学校は安心・安全の学校づくりをしている」80%)</p> <p>○地震発生時、火災発生時の迅速な対応及び避難訓練を行う。</p> <p>○過去の災害に学び、防災意識を高める指導を行う。(「家庭で防災について話題にした」80%)</p>			